

校長だより

福津市立福間東中学校
校長 猪股 清貴
平成 28 年 10 月 11 日 No32

より質の高い成果を求めて！

～目的をもって取り組むことの大切さ～



左の写真、何をしているところか分かりますか？3年生女子の器械運動の授業の様子です。準備運動から生徒たちは一生懸命です。3年生の学習では、1・2年生の「技がよりよくできる」から「自己に適した技で演技する」ことが求められています。授業では「3つ以上の技を滑らかにつないでできるようになること」を目標に、自己目標を明確にして課題に取り組んでいます。この授業の特色は、タブレットを用いて自分の技を録画し、すぐにその映像を見ながら、修正点を明らかにして次の練習に生かしてい

くところです。友達に技を見てもらい実際にその映像を見ながらアドバイスを受けることができるのでどこが悪かったのか、何を修正していけばよいのか納得して取り組んでいくことができます。タブレットがないグループは馬場先生が直接指導していただきます。指導してもらった内容は下の写真のように、すぐに自己評価表に記入していきます。こうして、自分の成長を確かめ



ながら学習内容を深めていくのですね。

男子もバレーボールの授業で同じように自分たちのプレーの映像を見ながら課題を見つけ出し、試合前の練習に生かしていました。映像を見た後の練習は目的がはっきりしており、メリハリのある自主練習が各グループで行われていました。筋力トレーニングでは、今どここの筋肉を鍛えているのか意識しな

がら行うのと、ただ漠然と行うのとでは筋肉の付き方が全く違うと言われていました。運動でも勉強でもそれは同じです。何のために今この活動を行っているのか、目的を持って取り組むかどうかによって、その成果が大きく変わってきますね。3年生の保健体育の授業でそのことを改めて確信しました。

